



自動販売機に「ぶどうのジュース、ください」と言う、お客さんのB児

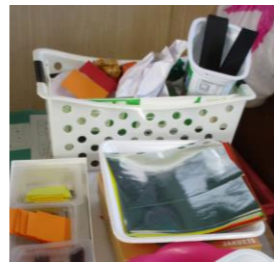
「お金、(自動販売機に)入れてください」

「あっー、ほんとにぶどうジュースだ！」とB児



焼き鳥屋の大将になりきっているA児

自分たちで修理できるコーナー(子どもが、大きさ・色・素材を選べる)



保育者が布テープを切っておくと、自分たちでクルリテープを作る子どもたち



「ここは、チョコレート」ドーナツを色ごとに並べていく



「お店屋さんごっこ」をやるよー!

協力園 大分明星幼稚園

(幼児の実態)

2月になると、子どもたちは、自分のイメージで遊びに必要なものを作...

各クラスでお店屋さんを開いて1週間が経ち、今日は3クラスが交流する日です。

子どもたちは、それぞれの店の商品を自分たちで出し、お店に並べます。

どの店も商品を並べ終えた頃、保育者は看板を付けようかと、布テープをちぎって子どもたちに手渡します。

A児は、焼き鳥屋さんになりたい」と意欲満々で、遊びを始めた子どもです。

B児たちは、自分で作ったお金を持って隣のクラスに買い物に行きました。

遊んだ後の振り返りで、買ったものを紹介し合いました。子どもたちは、買ったものを見せながら、楽しく買い物できたことを話します。

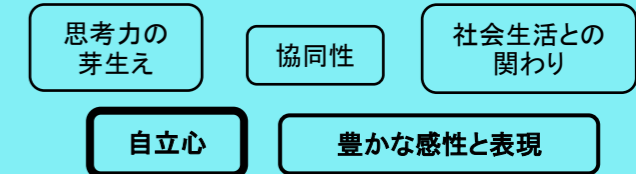
「ぶどうのジュース、ください」と言うと、中からお金、入れてください」と声が出ました。

「あっー、ほんとにぶどうジュースだ!」B児は、自動販売機で自分の欲しいジュースを買うことができました。

「あっー、ほんとにぶどうジュースだ!」B児は、自動販売機で自分の欲しいジュースを買うことができました。

遊んだ後の振り返りで、買ったものを紹介し合いました。子どもたちは、買ったものを見せながら、楽しく買い物できたことを話します。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「10の姿」



身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

事例から見られる10の育ち

自立心 子どもは、お店屋さんごっこをしようとして、自分でコックタイをしめたり、お店の仲間と商品を並べたりしている。

A児は、お客さんに並んでほしいことや、焼いたものを買ってほしい思いを言葉で伝えている。なりきって遊ぶことで、自分の思いを隠せず表現し、満足感を味わっていると考ええる。

豊かな感性と表現 A児は作った鶏串や七輪を使い、串を焼く手つきや視線など、焼き鳥屋さんになりきって表現を楽しんでいた。

事例から見られる10の育ち 豊かな感性と表現 A児は作った鶏串や七輪を使い、串を焼く手つきや視線など、焼き鳥屋さんになりきって表現を楽しんでいた。

自立心 子どもは、自分で考えたことや考えたことなどを具体的に褒める言葉かけ。子どもがなりきって遊ぶことができるイメージのわく道具(鶏串、七輪)や、すぐに使える材料の準備。

自立心 保育者の援助・環境構成のポイント

- 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わえる安心できる関わりや環境構成をする
・自分で考え、自分で行動できるような援助や環境構成
・遊びを楽しみながら、考えたり工夫したりできるような援助や環境構成